



サービステクニク

NO. FAS-040

発行 45年11月9日

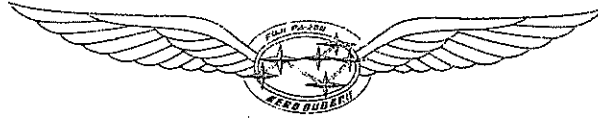
富士重工業株式会社

- 1 標 題 前脚組立取付部にシム材を追加する。
- 2 適用機体 FA-200の機体全機
- 3 適用度 要望事項
- 4 目 的 前脚操向装置の作動が円滑になるような調整法を規定する。
- 5 指 示 前脚取付金具（下部）胴体側と脚柱側の間シム材を追加する。
- 6 実施時期 任意
- 7 承 認 航空局承認対象外
- 8 所要部品 この作業には下記の部品が必要である。

部 品 番 号	部 品 名 称	1機当個数
MS24665-285	PIN, COTTER	1
MS24665-300	PIN, COTTER	1
MS24665-161	PIN, COTTER	1
MS24665-132	PIN, COTTER	1
MS20995C32	WIRE, LOCK	AR
A-61A又は相当品	BOND	AR
200-822000-11	SHIM (0.1m/m)	1
200-822000-13	SHIM (0.2m/m)	2

- 9 特殊工具 なし

FAS-040
SHEET 1



10 重量重心 変化なし

11 準拠資料 なし

12 所要工数 2.5H

13 作業手順 (図1参照)

1. 機体をジャッキアップする。(前脚のみでも可)
2. 前脚緩衝支柱取付金具(200-822140-11)の前後方向取付けボルト(200-822041-003)及び左右方向取付けボルト(AN8-37)をガタが付くまでナットをゆるめる。
3. 前脚緩衝支柱からシミダンパー及び前脚操向機構を切離す。
4. 前脚取付金具(下部)脚柱側と胴体側(200-430106-001)の間に前後方向ボルト孔中心位置より高い所に任意の厚さの隙間ゲージ(厚さ0.2~0.4mm位)を挿入する。
5. 前2項でゆるめたボルトを正規トルクまで締付ける。
6. 脚を左右方向に作動させ、前の状態と比較し、軽くなることを確認する。
もし状況が前と同じ様ならば、変った厚さの隙間ゲージで再検査する。
7. 脚の作動が正常になったときの隙間ゲージの厚さと同一寸法になる様シム材を組み合わせる。
8. 前脚上部ストッパー(200-822152-003)を取外し、前脚組立を前脚取付金具(脚側)と共に取外す。
9. 前脚取付金具(胴体側)の図示位置(隙間ゲージを使用した位置)に前項7で選定したシムを接着剤(A-6/A又は相当品)で貼付する。
10. 前脚組立を取外しの逆順序で取付ける。
11. 前脚取付金具、取付ボルト(2ヶ)を正規トルクで締めつける。
この時、前脚の作動が前項6の機能を維持しているか確認する。
12. シミダンパー及び前脚操向機構を取付ける。
この時、前脚の作動が前より軽くなっていることを確認する。
13. 機体をジャッキからおろす。

